

議会報告会を  
開催します！

議会報告会は、議会基本条例第10条に基づき行うものであり、同条第1項には「議会は、市政の諸課題に対処するため、市政全般にわたって、市民と議員が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を行うものとする」と規定しています。

開催日時、会場については左記の通り決定しましたので、ぜひご参加ください。

開催日時	会場
平成30年6月26日(火) 午後7時	両郷地区公民館
平成30年6月27日(水) 午後7時	佐久山地区公民館
平成30年6月28日(木) 午後7時	トコトコ大田原3階 市民交流センター
平成30年6月29日(金) 午後7時	大田原西地区公民館

平成30年 **6月定例会** 開催のお知らせ

会期(予定)

**6月11日(月)～6月21日(木)**



市議会HPは  
こちらから



※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。



〈中田原〉

鈴木 啓子さん



3月の市議会の一般質問を傍聴させていただきました。

「市水道の給水現状について」の質問と執行部の答弁で大田原市の水道普及率は95%と聞き、この率は凄いことだと私は感じました。

大田原市水道事業は昭和42年に給水が開始されまして、市も市指定給水装置工事業者も懸命だったと記憶しています。私は昭和45年から設備工事会社に事務職として勤務していました。

本管工事は街中の道路を掘削して埋設されていき、その後から各家庭に自家水道から市水道に切り替えをお願いするのが連日でした。あの頃の本管は重量のある鑄鉄製でしたが、その後配水用ポリエチレン管が開発導入されて軽量化されました。その布設のために市やメーカーさんの指導を仰ぎ業者は勉強会を

何度も開催しました。

当初はメーターボックスの中に閉止バルブがありませんでしたので、各家庭で漏水するとその家の止水栓筒の蓋を開けて長い開栓棒を使い止水栓を閉めて水を止めました。漏水電話が入ると現場に出ている職人さんの手配がつかず、事務員でも開栓棒を持ち現場に急行しました。蛇口をひねればジャーと水が出る当たり前のように思っていますが、長い年月があつてこの普及率があると認識する傍聴となりました。

今回の質問は、この普及してない5%の世帯に安全な市水道水の普及をとのことでしたが、執行部は本管理地域については自家水からの切換えをお願いしていくと答弁されていましたので、さらにこの率は高くなると確信しております。